

A321XLR、プラット・アンド・ホイットニーエンジン搭載機の型式証明を取得



プラット・アンド・ホイットニー社製エンジン搭載の A321XLR

A321XLRは2月に、プラット・アンド・ホイットニー社製ギヤード・ターボファン（GTF™）エンジン搭載機の型式証明を欧州航空安全庁（EASA）から取得しました。CFM インターナショナル社製「LEAP-1A」エンジンを搭載した A321XLR は、2024 年7月に型式証明を取得しています。プラット・アンド・ホイットニーエンジン搭載の A321XLR は、今年後半に商業運航を開始する予定です。

A321XLR は、航空会社が運用するワイドボディ機材と並ぶ航空機です。輸送量を増加し、新路線を開設、あるいは需要が変動する場合に既存路線の運航を継続する柔軟性をもたらします。また、旧世代の競合機に比べて1座席あたりの燃料消費量を30%削減しています。A321XLRの革新的なキャビン「Airspace」によって、すべてのクラスの乗客に長距離フライトに匹敵する快適さを提供します。

A321XLR 初号機は2022年6月に初飛行を実施しました。その後、3機の試験機を使用して試験プログラムを行ってきました。2024年にA321XLR初号機が商業運航を開始しました。これまでに500機以上の受注を獲得しています。



路線実証飛行で北極を飛行する A321XLR から見えるオーロラ

contents

A321XLR、プラット・アンド・ホイットニーエンジン搭載機の型式証明を取得

2024 年度民間航空機部門の受注数、納入数を発表

スターラックス、A350F を5機追加発注

エア・インドियाがエアバス機を100機発注

エア・カナダ、A220 を5機追加発注

ゼファー HAPS、成層圏でLTE通信の実証実験を実施

2024 年度民間航空機部門の受注数、納入数を発表



エアバス機ファミリー

2024 Commercial Aircraft highlights

Delivery target achieved, world's first A321XLR enters service, good widebody order momentum



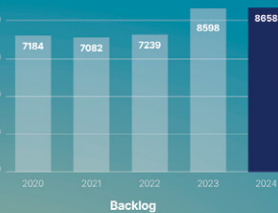
Deliveries increased year on year

- 4% higher vs 2023
- 14% more A321neo vs 2023
- 60% of single aisle deliveries were A321neo



Milestone widebody orders

- A330neo: Cathay Pacific, Vietjet, Virgin Atlantic
- A350: Delta Air Lines, IndiGo, Korean Air
- A350F: STARLUX Airlines



AIRBUS

エアバスは2024年度に民間航空機を86社へ766機納入したことを発表しました。また、878機の総受注数を獲得し、2024年12月末時点で受注残は8,658機になりました。

クリスチャン・シェーラー民間航空機事業 CEO は次のように述べています。「2024年は、新造機に対して持続的な需要がありました。主要な顧客

の何社かが、非常に重要な選定を決めました。ワイドボディ機の受注に活発な動きが見られ、単通路型機市場におけるリードを補完しています。納入は継続的に進展しており、記念すべき引き渡しもありました。A321XLR初号機を納入し、何社かの大手航空会社にとって初となるA330neo、A350の納入を行ったことを嬉しく思います」

納入内訳

	2024	2023
A220 ファミリー	75	68
A320 ファミリー	602	571
A330 ファミリー	32	32
A350 ファミリー	57	64
合計	766	735

シェーラーはまた「複雑で急速に変化するビジネス環境を考慮すれば、私たちにとって2024年は良い年であったと考えます。この2024年の成果は、エアバスのチームが一丸となって尽力したおかげです。顧客ニーズに応えるため日々取り組むチームに感謝します。そしてまた、私たちに信頼を寄せ続け、深い関係性を築いている世界中のお客様にも心から感謝を申し上げます」と語りました。

スターラックス、 A350F を 5 機追加発注

台湾のスターラックス航空が、最新鋭貨物機 A350F を 5 機追加発注しました。スターラックス航空は昨年も 5 機発注しており、同社の A350F に対する合計発注数は倍増しました。A350F は、スターラックス・カーゴによって需要の高い貨物路線で運航される予定です。

スターラックス航空は現在、A321neo、A330neo、A350-900 を含む 26 機のエアバス機を運航しています。

現在開発中の A350F は、最大 111 トンのペイロードで、最大 4,700 海里 (8,700 キロ) を飛行することができます。最新のロールス・ロイス社製

「Trent-XWB97」エンジンを搭載し、同様のペイロードと航続距離を持つ旧世代の航空機と比較して、燃料消費量と二酸化炭素排出量を最大 40% 削減します。

メインデッキに大型の貨物ドアを備え、胴体の長さや容量は業界標準のパレットおよびコンテナ貨物輸送に最適化されています。機体の 70% 以上に最先端の材料を使用するため、競合機より離陸



スターラックスの A350F 貨物機

重量を 46 トン軽量化しています。さらに、A350F は 2027 年に施行される ICAO の CO₂ 排出基準にも対応する唯一の新世代貨物機です。

エア・インドアがエアバス機を 100 機発注

タタ・グループ傘下のエア・インドアが A350 を 10 機と A320 ファミリーを 90 機発注していたこ

とを昨年 12 月に公式に発表しました。また、同社の増加する A350 向けにフライト・アワー・サービス・

コンポーネント (FHS-C) のサービス契約を締結しました。

エア・インドアは 2023 年にも A350 機を 40 機と A320 ファミリーを 210 機発注しています。エア・インドアによるエアバス

機の発注数は 344 機になり、A350-900 は 6 機納入されています。

FHS-C サービスは、増加するエア・インドアの A350 の運用と信頼性の最適化をサポートします。エアバスは、A350 向けパワー・バイ・ザ・アワー整備サービスを提供するメーカーとして世界をリードしています。

エア・インドアは現在進めている保有機の近代化プログラムの一環で今回のエアバス機発注とサービス契約を結びました。

2024 年 1 月に A350 の運航を開始したエア・インドアは、インド市場で初めて A350 を導入した航空会社です。



エア・インドアの A350

エア・カナダ、A220 を 5 機追加発注

カナダの国営航空会社であるエア・カナダが昨年 12 月に A220-300 を 5 機追加発注しました。エア・カナダは 2019 年 12 月の A220 初号機を受領から 5 周年を迎えました。同社は 2016 年に 45 機の A220-300 を初めて発注し、さらに 2022 年に 15 機を追加発注しています。今回の発注を含め、同社の A220 に対する総発注数は 65 機に増加しました。

エア・カナダは、2020 年 1 月に A220-300 の運航を開始し、北米で同機を運航する最初の航空会社になりました。それ以来、70 都市以上に A220 を運航させています。A220 はケベック州ミラベルで最終組立が行われており、カナダの航空宇宙部門で重要な役割を担っています。



エア・カナダの A220

エア・カナダは A320 ファミリー、A330 ファミリー、A220-300 を保有しています。また、A321XLR を

26 機発注しています。

ゼファー HAPS、 成層圏で LTE 通信の実証実験を実施

エアバス子会社の AALTO は、NTT ドコモ、Space Compass とゼファー HAPS を介したスマートフォンを用いた LTE によるデータ通信の実証実験を実施しました。AALTO はゼファー HAPS の設計、製造、運用を行っています。

2月にケニア共和国ライキピアカウンティで行われた実験では、高度約 20 キロの成層圏を飛行するゼファーを介し、地上の LTE 基地局から送信される電波を地上のスマートフォンへ伝送しました。

高度 18 キロ以上の成層圏を飛行する小型固定翼タイプの HAPS 機体を用い、地上のスマートフォ

ンと無線でのデータ通信を確立する事に成功したのは世界初となります。

NTT ドコモと Space Compass は 2024 年 6 月に、両社が主導する HAPS JAPAN を通じて AALTO に対し最大 1 億ドルを出資することを発表しました。AALTO の商用ロードマップ実現を支援し、日本における 2026 年の HAPS サービス提供開始とグローバル展開をめざしています。

高度な航空技術を備えるゼファーは、2022 年に無人航空機として世界最長となる 64 日間の滞空飛行を実現しました。

太陽光を利用し、ソーラー発電のみで駆動するゼファーは、燃料を使わず二酸化炭素を排出しません。ゼファーは顧客に新たな監視、検知、通信能力を提供します。森林火災や石油流出の拡大を監視するなど、災害管理に革新的な能力を付与することができます。また、常続的な監視能力、世界自然環境の変化追跡が可能になり、さらに、現在通信ネットワークのない世界の大部分の場所に通信能力をもたらすことが可能となります。



LTE 通信の実証実験に成功したゼファー

2025年度1月末時点の受注・引き渡し・運航機数

機種	総受注機数	総引き渡し機数	運航機数
A220 / A318 / A319 / A320 / A321	20,002機	12,277機	11,342機
A300 / A310	816機	816機	259機
A330 / A340	2,240機	2,000機	1,654機
A350	1,363機	644機	643機
A380	251機	251機	222機
合計	24,672機	15,988機	14,120機